

総務文教常任委員会審査日程

日 時 令和4年4月27日（水）

午前10時

場 所 第2委員会室

～審査内容～

- 1 陳情書（教育委員中村眞也氏の中立性を欠く言動についての調査及び対応について）

陳情書

令和4年2月10日
山陽小野田市議会議長
高松 秀樹 様

教育行政を危惧することから「教育委員中村眞也氏の中立性を欠く言動についての調査及び対応について」との標記で教育委員長、教育委員宛てに別紙「要請文」を提出いたしました。

ご承知のとおり教育委員については議会での同意が必要な人事案件ですので、その人選には議会に一定の責任があります。

議会として教育委員会の対応をしっかりとチェックいただくに留まらず当該教育委員の不適切な言動の調査を行っていただき適正な教育行政の推進となりますよう陳情いたします。

記

文部科学省の教育委員会制度、[教育委員会制度の意義]の中の①には「個人の精神的な価値の形成を目指して行われる教育においては、その内容は極めて重要。このため、教育行政の執行に当たっても、個人的な価値判断や特定の党派的影響力から中立性を確保することが必要」との記述があります。

対して教育委員である中村眞也氏は「私たちはふるさと発展のため天文館、青年の家研修棟の再建を要望します。」という表題での市長あての署名運動の発起人（代表者名に名前が連ねられているとの意味）になっております。

市民団体の長としての肩書であります、公人である教育委員という立場の者が、このような署名運動に名前を連ねることが「個人的な価値判断からの中立性」を保っていると言えるのでしょうか。

好むと好まざるに関わらず教育委員という役にあることは周知の事実であり、市外においてその活動を行うのであればともかくとして、市内において特定の政策を求める要望書への発起人となることは子供たち、特にその保護者や市民に多大な影響を与えるものであり中立性が担保されず決して許されるものではありません。

補足の意味も含めて申し添えますが、青年の家等の施設再建運動が悪いものではありません。施設再建運動にも賛否がある中でそこに名前を連ねることは、個人の価値観であり中立性が担保されていないことが問題です。

これらから中村氏の根底には「公平中立な立場で教育行政を推進する」という基本的考え方が欠如し教育委員の自覚が更々無く、教育行政の適正なる運営を阻害する者であることは明白です。

教育長、教育委員各位におかれましてはしっかりと調査いただき、「これからの未来を担う子供たち」の健全な育成とその保護者、そして市民が惑わされることが無いよう対処いただきますよう陳情いたします。

以上

山陽小野田市大字山川 1329 番地 27

伊藤 實



h o o l」を活用して、被災者や被災支援者の体験談を視聴したり、学校に被災支援者を招いて現地での体験談を聞かせていただいたりというような現状を報告いたしました。今後も各学校を指導していく旨を回答いたしました。またプラネタリウムの活用については、上映が可能か確認しましたが、本市の機械はアナログ機で、このソフトに対応していない事が判明いたしましたので、代わりに仙台市天文台からDVDを借用し、中央図書館で上映会を実施したことを報告させていただきました。また、吉永議員からは学校におけるいじめ対策についても質問がありました。本市のいじめ防止基本方針に沿った未然防止・早期発見・早期対応の取り組みを報告させていただきました。

次に前田議員から、埴生地区のまちづくり関連の質問として、通学路の安全確保についての質問がありましたので、通学路交通安全プログラムに沿った取り組みについて説明をいたしました。

最後に山田議員から、学校におけるコロナ感染の現状について質問がありました。1月に2学級、2月に1学級の学級閉鎖を行いました。最小限度の閉鎖で教育を止めずに済んでいるのも、各学校の先生方や家族の皆さんのご協力とご努力があってこそと考えている旨を説明させていただきました。先程、3月に入ってから小学校のもう1クラス、学級閉鎖をすることが決まりました。卒業式を前にして学校も大変だと思いますが、引き続き感染対策をお願いしたいと思います。

次に2点目。本で行われました総務文教常任委員会の報告です。ここでは議会に出されております、教育委員中村眞也氏の中立性を欠く言動についての調査及び対応について審議されました。私からはこれまで中村委員に対して行った調査の状況と、これまで行ってきた教育委員会の対応について報告いたしました。審査の中で中村委員から他の教育委員へ謝罪はあったのか、とか、なぜ教育委員を辞任せず埴生地区ふるさとづくり協議会会長を辞任したのか、などの質問がありました。それに対して私からは、中村委員も他の委員さんが発言された個人の価値観で他に働きかけたり、特定の主張を他に展開することは公人である私達が留意すべきことであるという旨の意見を重く受け止められて、埴生地区ふるさとづくり協議会会長の立場と山陽小野田市教育委員としての立場を両立させることは難しいとご自身で判断され、埴生地区ふるさとづくり協議会会長を辞任することだけじめをつけられたという旨を報告させていただきました。

最後に中学校の卒業式に参加しての報告です。私は埴生中学校の卒業式に参りました。参加者は卒業生、在校生、保護者、来賓も最小限度ということで埴生自治協の会長、埴生社教の会長、埴生幼稚園園長、津布田小校長が臨席されておりました。1時間弱の式でしたが、卒業生主体の良い卒業式であったと思います。私からは報告は以上です。

何か質問等ございましたらお願いします。

○中村委員

はい。

○長谷川教育長

はい、中村委員。

○中村委員

はい。実は私の件で、昨年の12月から埴生地区で青年の家ゾーンの署名活動をなされておりました。その発起人に埴生ふるさとづくり協議会会長中村眞也の名前が掲載されて、各自治会会員に回ったと。それともう1件はある市議会議員さん同席して、この市役所の改装工事に伴う玄関の壁にガラス文化を発信する何らかの取り組みをしたらどうか、ということを経理部長、市民部長に対して、私がふるさとづくり協議会会長という肩書で同席して一緒に申し入れた。この件について私は教育委員であるという肩書を持ちながらこういう活動をするのが疑義を生むということで、私

は2月21日付で埴生地区ふるさとづくり協議会の役員会で一身上の都合で辞任を申し出て、了承され会長職を辞職しました。そういう経緯があって、それと教育委員さんの助言もありまして、教育委員とふるさとづくり協議会会長の職を両立させるのは私としても難しいと判断に至りましたので、ふるさとづくり協議会会長を辞職した次第です。以上です。

○長谷川教育長

はい。ありがとうございました。他に委員さんからは何かございますか。

(「ありません。」の声あり)

それではせっかくですので、卒業式に参加されての感想等があればお聞かせ願いたいと思います。が、砂川委員、よろしいですか。

○砂川委員

はい。私は厚陽中学校の卒業式に行かさせていただいたんですけども、ご存知とおり厚陽小・中学校は非常に児童数が少なくなってきていて、卒業生は8名です。来年は倍の16人くらいはおられるようなんですけども。ただ、どこの卒業式も同じなんですけど、やはり卒業式は良いものだと感じることができました。今日議事に出ております教育基本計画の策定の審議はないみたいなんですけど、厚陽とか埴生とか一貫校と言われたり連携校と言われたりしながら今日まで至っている両校があります。それはそれぞれの考え方があると思いますので、結論を急ぐことなくしっかりと考えながら、数が少ないから云々ではなく本当に子ども達がちゃんとした教育を受けられるような環境を作ってあげられるっていうことを謙虚に求めて、という気持ちもあって、厚陽中学校に行かせてもらって校長先生に挨拶させてもらって、やっぱり来て良かったなと思いを持って帰ることができました。どうもありがとうございました。

○長谷川教育長

はい。ありがとうございました。では、竹田委員。

○竹田委員

はい。私は小野田中学校に久しぶりに行かせていただきました。コロナ禍で子ども達の姿、運動会とか普通だったら見られている日頃の行動とか表情とか、本当に分からなかったんですけど、素晴らしい卒業式でした。感動いたしました。先生方も本当に大変な中、子ども達と一緒に寄り添っていただいてこの日を迎えてくださったんだな、と。本当に子供達の成長が感じられた卒業式だったと思います。本当にありがとうございました。

○長谷川教育長

ありがとうございました。では中村委員、お願いします。

○中村委員

はい。私は厚狭中学校に行ったんですけど、体育館がちょっと狭いということで、来賓はおらず、教育委員会の私が一人で、在校生は2年生だけでした。両側に職員の方々が座っておられて、いつもはその学校は片方に教職員が座るんですけども、厚狭中は両側に座っていました。一番肝心な、送辞・答辞は非常に長くて、こんなに長い送辞・答辞は初めて聞いたという思いがありました。皆さん、卒業式を厳かに執り行われ、保護者の方々も神妙に子ども達の卒業を見送っていました。以上です。

○長谷川教育長

はい。ありがとうございました。では末永委員、お願いします。

○末永委員